

公明こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
住 所／〒780-0870
高知市本町5丁目1番45号
TEL:088-823-9403
FAX:088-871-2485

2024年(令和6年)8月1日 第62号

高知市議会  KOMIJO 公明党

第501回

高知市議会
定例会

永年の市政課題を、
チームワークで推進!!



やまね たかひろ
山根堂宏 議員

山根堂宏議員は質問戦のトップで登壇し、一問一答方式で以下の質問を行いました。

◆市長の政治姿勢について

○人事に関して
市長に民間人材の積極的な登用を伺うとともに、高知市で初の女性副市長に就任された神谷副市長に來高の率直な感想と抱負を伺いました。

○財政問題について

高知市が本年6月に設置した、第三者機関「高知市財政問題懇話会」の在り方と、市長の期待度を伺いました。

○財産管理について

市の遊休財産や行政財産などの有効活用と売却、旧東石立町市営住宅の土地と建物について担当部長と市長の方針を伺いました。

◆選挙行政について

選挙に関する広報広聴活動の推進と、高木議員の提案で次期の参議院通常選挙から導入となる「投票支援カード」の進捗状況を伺いました。

◆スポーツ振興について

高知市陸上競技場は競輪場との複合施設であり、第2種公認陸上競技場で「りょうまスタジアム」の愛称で皆様に利用されているが、建設から25年が経過し、設備の現状調査と中長期的な整備計画の策定を担当部長と市長に伺いました。

◆地域公共交通に関して

高知市地域公共交通会議で「路線バスを71系統から62系統に削減するなど、全体で10%の減便を行う方針」が示されたことから、市民から見直しや再検討を望む多くの声が寄せられており、今後の代替手段や市民の移動手段の在り方について、関係部長と市長に所見を伺いました。



たかぎ たみ
高木 妙 議員

高木妙議員は「オーテピア西敷地」の整備について、一問一答方式で質問しました。

6月議会には、「おまち多目的広場」として暫定利用を目的とする整備方法が、アスファルト舗装の耐用年数とされる10年間の維持費を含め、およそ1億円の試算で提案されました。その財源は「地域活性化事業債」を活用し、10年の償還計画で整備されるということです。

問 断定期間とは

答 10年の間「おまち多目的広場」として活用することを確約するものではない。将来的に新たな活用についで検討すべき状況となりましたら、10年にこだわらず議論をする必要があると考えている。

問 長期利用ならば行政財産にするべきでは

答 一時的な活用の想定であり、将来に渡る用途が特定できないため、普通財産の貸し付けにより、イベント等の開催に活用して頂きたい。

問 当初計画より高額になっているが

答 暑さ対策として、アスファルトの路面温度抑制効果のある「遮熱性舗装」を用いる。

問 「眩しい」との報告があるが

答 「ほとんど気にならない」との意見もある。等々のやり取りを行い、整備方法については、①塗装業界の方や視覚に関係する専門家、イベント業者さんなど関係者の意見を聞くこと。

②公共施設に相応しい貸し付け方法を検討することなど、計画変更の時は、財政状況を鑑みながら判断することを求め、委員会の質疑に委ねました。
整備スケジュールは以下の通りです。

オーテピア西敷地整備スケジュール (予定)

R6年度										R7年度			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
議会		★6月議会 【整備費補正予算】			★9月議会 【進捗報告】			★12月議会 【進捗報告】			★3月議会 【工事完了報告】		
整備工事		舗装工事 設備工事	設計～契約		工事～引き渡し					埋文調査で 延長する可 能性あり		利用スタート	
運営、備品手 配等					クラウドファンディングの実施				利用促進のための広報				
		パラソル等備品の購入			ネーミングライツ等の検討								

※ネーミングライツ導入予定：令和7年6月頃 公募、10月頃 愛称使用開始

高知市「事前復興まちづくり計画」

広域かつ甚大な被害を受けた東日本大震災では、多数の自治体職員が被災する中、応急復旧などの膨大な業務に追われたことや、被災後の土地利用など従来の制度や体制では、復興事業着手までに長期間を要するなど多くの課題や教訓が示されました。高知市では、この教訓を生かし、迅速かつ円滑な復旧・復興を図るため、令和5年度から被災後のまちづくりの復興方針や復興に向けた組織体制に関することなど、復興手順等の指針となる「高知市復興基本方針」の策定を進めています。

■事業概要

高知市では、あらかじめ事前復興まちづくり計画を策定し、南海トラフ地震発生後に円滑な復興・復旧を進める必要があります。そこで、事前対策として、既存計画との調整を図り、復興への備えを検討しておくことで、発生後に被災状況に応じた計画を速やかに策定することができ、復興期間の大幅な短縮を目指しています。

■高知市の計画の進捗状況

- 復興に当たっては、各地域における事前復興計画が重要であり、5月28日に高知県が公表した「事前復興まちづくり計画のための津波シミュレーション結果」を基に、8地区を対象に選定しました。
- 令和6年度は、このうち2地区(三里・潮江地区)について、被災状況の分析や土地利用の可能性、復興に向けた課題等を抽出し、様々な復興パターンの検討を進めています。
- 令和7年度は、各地区でのワークショップを開催し、住民の皆様のご意見も伺いながら「地区別事前復興まちづくり計画」の策定に取り組む予定です。

県内初！ ネーミングライツの取組

高知市は令和6年5月に、県内の公共施設では初導入となる、公園など34か所に愛称をつける権利「ネーミングライツ」を募集することを発表しました。

この事業の目的は、施設を維持管理するための財源を確保するとともに、民間企業等へ地域活動や社会貢献の場を提供することです。

企業名や商品名を、高知市公共施設の愛称にできる権利を有する者(ネーミングライツパートナー)には、施設看板やホームページでの愛称PRにより企業様の名称などを宣伝することが可能で、ネーミングライツ料は公共施設の維持管理に使用されますので、社会貢献につながるというメリットもあります。

いよいよ令和6年10月1日より、愛称使用開始となります。

対象施設等 34施設(予定)

候補施設分類	施設等数	主な施設
スポーツ施設	5	総合運動場、東部総合運動場等
文化施設	5	高知市文化プラザ等
公園	4	中央公園、弥右衛門公園等
レクリエーション	3	わんぱくこうち等
駐車場・駐輪場	5	県庁前通り地下駐車場、高知駅駐輪場等
市道・橋梁・歩道橋	3	江ノ口3号線、薊野大橋(下知33号線1号線)等
市民等交流施設	7	江ノ口コミュニティセンター等
その他	2	春野漁港等

桂浜の高知灯台

桂浜公園は、令和5年3月にグランドオープンして以来、観光スポットとして賑わいを見せています。スポットの中に、高知灯台や桂浜散策コース・探検コースがあり、雄大な太平洋を望みながらの散策を楽しむことができます。高知灯台は、1883(明治16)年に本浜の龍頭岬に設置され、1971(昭和46)年に全面改修後、現在の場所に移設されました。

ここが新たな名所になるように、公明党が提案し高知灯台までの道のりの整備が完了しました。この遊歩道は災害時には、避難路として使われます。路面舗装や10カ所に設置している照明はLEDを使用、通路の手摺りは転落防止柵が施されるなど、安心安全で今の時代にマッチした整備がなされています。



(第五管区海上保安部より航路標識協力団体の指定を受け高知市で管理をしている)



常任委員会・議会運営委員会

総務常任委員会

山根 堂宏・西村 昭夫

経済文教常任委員会

○大久保 尊司・猪野 恵

建設環境常任委員会

高木 妙

厚生常任委員会

伊藤 弘幸

議会運営委員会

大久保 尊司

広報広聴委員会

○高木 妙・西村 昭夫

特別委員会

行財政改革調査特別委員会

大久保 尊司・西村 昭夫

南海地震等災害対策調査特別委員会

○山根 堂宏・猪野 恵

まちづくり調査特別委員会

○高木 妙・伊藤 弘幸

(○委員長 ○副委員長)



私たちは日常の何気ない会話や見聞きしたこと、物の見方や視点が変わり新たな発見をする場面があります。私自身、これまでの先入観や既成概念を払拭することで、見方が変わるなど多くを経験してきました。◆以前にネットで話題になった内容で、「子どもが」「なぜ勉強をするのか」と、母親に聞いたときのこと。そのお母さんは、次のように答えた。『とのことです。◆母親はコップを指して、「国語なら「透明なコップに入った濁ったお茶」、算数なら「200mlのコップに半分以下残っているお茶」、社会なら「中国産のコップに入った静岡産のお茶」と色々な視点が持てる。多様な視点や価値観は心を自由に『とする』という自由を返されたとのこと。◆当時、このツイートは4万件近くのリツイートやお気に入り登録がなされるなど、多くの共感の声が、このお母さんの回答に集ったとありました。◆ちよつとした問題意識の持ち方や視点を変えることで、話題が広がる物の見方が変わり、何気ない会話の中にも転機やきっかけがあることを再認識し、心掛けています。

(堂)